

# KLIS TODAY

No.  
46

筑波大学 情報学群 知識情報・図書館学類

## 人間の行動メカニズムをデータから解明する

山本 修平

なぜ私達は、宿題や仕事をメ切間近まで先延ばしにしてしまったり、健康でいたいののにダイエットに失敗してしまったり、数量限定の商品が欲しくなってしまうのでしょうか。なぜ私達は、自分の行動や選択を将来になって後悔してしまうのでしょうか。私達が将来後悔しないためには、どういった支援が必要でしょうか。

こうした、人間の行動や意思決定のメカニズムをデータ分析によって解明し、情報科学の道具を活用してモデル化する「行動モデリング研究」には私は取り組んでいます。この研究の面白さは、情報科学だけでなく、人文科学の知見を融合する学際性にあると思います。実際に人間の行動データを分析してみると、上記で触れたような合理的に説明できない行動パターンを発見できます。この背後には、「行動経済学」という分野で研究されている「人間の不合理な意思決定」が潜んでいることを確認できました。このように、私は情報科学の道具や人文科学の知見を用いて人間の行動や意思決定の性質をデータから適切に読み取り、より人間の行動や意思決定に近いモデルを構築することを目指しています。構築したモデルを、機械学習などの枠組みで未来予測やシミュレーションに活用するだけでなく、人間を良い方向に変容するための介入策の策定に繋げることにも興味があります。データと他分野の知見を組み合わせ、

「人間を知る」

ことに一緒に取り組んでみましょう。  
着任のご挨拶：2024年2月に知識情報・図書館学類に着任しました、山本修平と申します。専門は行動モデリングや機械学習です。学類では知識情報システム専攻に所属し、「機械学習」などの授業を担当します。どうぞよろしくお願いいたします。

(やまもと・しゅうへい 知識情報・図書館学類 准教授)



NTT横須賀研究開発センタから房総半島を臨む



知識情報・図書館学類  
College of Knowledge and Library Sciences

〒305-8550 つくば市春日1-2  
Tel 029-859-1110 Fax 029-859-1162  
URL <https://klis.tsukuba.ac.jp/>  
E-mail [klis-info@inf.tsukuba.ac.jp](mailto:klis-info@inf.tsukuba.ac.jp)

## 「ビブリオバトルスタジオ」(仮称) が新設されます!

小野 永貴

皆さん、ビブリオバトルしていますか?

本学類は、ビブリオバトル方式の推薦入試があるので、毎年約40人もビブリオバトル経験者が入学しているはずですが、しかし、「入試以来1回もやっていない」「やりたいと思いつつ機会がなかった」という学生さんの声をよく聞きます。

そこで、ビブリオバトルを気軽に楽しんで頂ける施設として、講義棟の7A201室に「ビブリオバトルスタジオ」(仮称) というスペースをつくりました。

この部屋には、ボタン一つでタイマーを起動できるPCと大型モニターが置いてあり、本を持ち寄るだけですぐにビブリオバトルを始められます。また、学類ロゴの背景パネルや大型の照明も設置し、カメラやミキサー等の映像機器も用意してありますので、イベント動画の撮影・配信も可能です!

この部屋は、今年度中の運用開始を目指し現在準備中です。運用開始時には、スタジオの利用アイデアやスタジオの運営に協力してくれるスタッフを広く募りたいと考えておりますので、多くの学生さんご参加を楽しみにしております。



ビブリオバトルスタジオ (仮称)

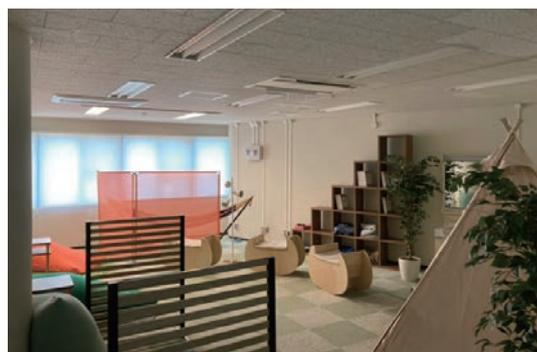
(おの・はるき 知識情報・図書館学類 助教)

## ウェルビーイングルームがオープンしました!

松原 正樹

最近、身もココロもゆるんだ時間はありましたか?

現代ではSNSやインターネットの発展により、多くの情報が身近にあふれています。タイパ・コスパなどを求めるあまり、私たちはしばしば外部の情報に左右され、自身の「内面」=ココロを後まわしにする人は少なくありません。しかし、ココロに時間をかけなければ自分の感情やカラダの調子に鈍くなってしまいかも。そうなれば、みなさん一人ひとりの多様な幸福(ウェルビーイング)が損なわれてしまいます。



ウェルビーイングルーム

ではどうするか。みなさんは入浴や歯磨きでカラダの衛生を保っていると思います。同じように、ウェルビーイングにはココロの衛生も保つことが大切なのです。ウェルビーイングルームでは、静かで穏やかな空間の中で心身をゆるませ自分のココロを見つめ直すことができます。押し寄せる情報からはあえて距離を置き、「今、ここ」での自分の内面に意識を向けてみませんか。

(まつばら・まさき 知識情報・図書館学類 准教授)

## ビブリオのすゝめ コロナ禍編

積 風我

高校1年生の時に軽い気持ちでビブリオバトルを始めてから、気づけば今年で、8年も経ちました。ビブリオバトルとは簡単に言うと「何人かが順番にそれぞれの好きな本を紹介し、その中でもっとも『読みたくなった』本が優勝する」書評ゲームです。あくまでも主役は紹介される書籍ですが、私は本の紹介を通して8年の間に何冊かの本を紹介するとともに数々の大会に出場し、様々なひとたちと出会ってきました。南の島出身の私には高校時代、全国各地に“本の紹介”を通して知り合った友達がありました。筑波大学入学後はコロナウイルスによるパンデミックとなり、物理的な繋がりはオンラインに置き換わりました。オンラインによる新たなビブリオバトルが盛んになり、全国大会はインターネットで開催されました。新たなコミュニケーションの形であるビブリオバトルは新たなコミュニケーションの手段であるリモートの形で代替されることとなりました。

私は大学2年生のとき、オンラインによる大学生ビブリオバトル大会で全国準優勝を経験しました。高校時代から対面でビブリオバトルや学生生活を続けてきた私にとって、大学生活が始まってから絶え間なく続くオンライン上での生活は異質なものだったと言えます。言葉を交わしているにもかかわらず友のぬくもりを感じることは難しく、パソコンから無機質に響く声は世界の将来を暗示しているかのように感じたことを覚えています。フィジカルを代替することの難しさを感じつつ開催されたビブリオバトルのオンライン全国大会は、そんな世界の中で希望を見出すことができたひとつの大きな光だったのかもしれない。それぞれが好きなものを語り、温かくその姿を受け入れるために存在する空間をあの頃の私たちは求めていたのかもしれない。

「人を通して本を知る 本を通して人を知る」…ビブリオバトルのキャッチコピーは、ポストコロナの現代の私たちにどう働きかけるのでしょうか。

(せき・ふうが 2023年度知識科学主専攻卒)



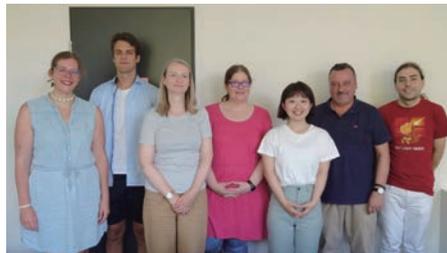
心に残った本と社会人の目標を掲げる写真

## 国際インターンシップ活動報告

### 初めての挑戦 ルール大学ボーフム

今井 爽季

私は、2023年9月3-16日にドイツのルール大学ボーフムにて、インターンシップを行いました。東アジア図書館の日本専門司書さんにお世話になり、日本語書籍の目録作成、ホームページの日本語訳などの仕事をしました。ルール大学ボーフムは、キャンパスが広い点、自然が多い点など筑波大学と似ており、すぐ馴染む事が出来ました。ボーフム市内も自然が多く、清潔で安全でした。また、散歩をしていると挨拶が飛び交うなど、気さくな方が多かったです。私がボーフムに滞在した期間は、ラッキーだねと言われる程晴れの日ばかりで、色々な所を散策すれば良かったと少し後悔しています。食事では、仲良くなった方に連れて行って頂いたBurgeradoのハンバーガーとApfelschorleが、写真を撮る事を忘れるくらい美味しかったです。私にとって今回が初めての海外であったため、渡航前は飛行機での移動やドイツでの生活等、心配が尽きない毎日でした。しかし、何にも代えがたい素晴らしい経験だったと思えるほど、私の人生に大きく影響を与えた14日でした。



ルール大学の先生や学生さんたちと



現地での食事 (シュニッツェル)

(いまい・さき 情報資源経営主専攻4年次)

### 釜山とソウルでの経験

品部 絢音

私は2023年8月に、韓国での11日間の国際インターンシップに参加し、釜山大学で講義を受講したほか、釜山、ソウルの大学図書館、国立図書館、公共図書館、専門図書館、博物館、歴史記録館の計10の施設を訪問しました。

訪問した釜山は海が綺麗な都市で、毎朝ホテルの目の前の砂浜を散歩するのが楽しみの一つでした。



国会釜山図書館

私は海外の図書館や障害者サービスに関心があったこと、韓国語を学んでおりコミュニケーションを通して実力を伸ばしたことから参加を決めました。

今回訪問した図書館が比較的規模が大きかったこともあり、障害者閲覧室、障害者用資料、障害者閲覧席、補助機器が充実している施設が多かったです。また韓国の図書館では、特にAIを活かしたサービスやデジタルサービスが日本と比較して発達しており、AIによる選書サービス、館内VRツアー、タッチパネルやサイネージの設置等がみられました。

最後に、報告会まで見守りご指導くださった先生方、釜山大学の先生方並びに学生の皆さんに深く感謝いたします。



ピョルマダン図書館

(しなべ・あやね 情報資源経営主専攻4年次)